

2021年度 事業活動計画書

1. 委員会名

大学教育委員会

2. 趣旨

- ①教育内容（カリキュラム）、方法、評価の調査研究
- ②教員組織、教員の質・能力向上、教育能力・施設設備の調査研究
- ③教育に関するセミナー、ワークショップ等の実施
- ④上記①～③に関連する本法人の提言又は要望の案のとりまとめと理事会及び総会への報告

3. 担当理事および委員（○：委員長）

- 片田 範子（関西医科大学）
佐藤 みつ子（了徳寺大学）
中嶋 恵美子（福岡大学）
波川 京子（川崎医療福祉大学）

4. 2021年度事業活動計画

1. 研修会の開催

1) 「シミュレーション教育研修会」

コロナの収束後もシミュレーション教育は必要であるため、2020年度に続く第2弾として「看護学基礎教育におけるシミュレーション教育の活用」を企画する。

- ①テーマ：アフターコロナでのシミュレーション教育の役割（仮）
- ②講師：阿部 幸恵 先生（東京医科大学医学部看護学科学科長・教授）
藤野 ユリ子 先生（福岡女学院看護大学看護学部看護学科教授）
小児（福岡大学）と在宅（福岡女学院看護大学）の事例紹介
- ③日時：10月頃
- ④開催方法：Web開催と後日配信
- ⑤プログラム：午前の講演2つと午後の事例紹介2つ

2) 「新任教員向け研修会」

2020年度の新任教員研修会は2021年5月5日まで動画配信していた。

2021年度の活動としては新たなテーマとして「新人とともに成長する教員組織」講演を企画する。

- ①テーマ：「新人とともに成長する教員組織」
- ②講師：未定
- ③日時：12月頃
- ④開催方法：Web開催
- ⑤プログラム：午前に講演、午後は情報提供

2. COVID-19に伴う看護学実習への影響調査のまとめ

JANPUと合同で実施したCOVID-19に伴う看護学実習への影響調査結果を検討し報告する。

5. 今後の展望（2021年度～2022年度）

看護学教育を取り巻く社会の変化が激しい中、長期的な事業活動は具体的な計画を立てにくい状況にある。特に、2021年度はCOVID-19の拡大により、カリキュラムの大きな変更を与儀なくされている。その対応策に関する情報を共有し、教育方法の工夫や開発による「教育の質」の担保、更には「教育の質」の向上へと、この変化を踏まえて長期計画へと発展させていく年度としたい。

又、本協会の会員校である私学のもつ多様なニーズを把握し、私学の特色を生かした事業を企画していく必要がある。

2021年度 事業活動計画書

1. 委員会名

研究活動委員会

2. 趣旨

- ①教員による研究費獲得の向上、学術研究の大学内環境や条件を向上するための方策の調査研究
- ②研究助成と研究ネットワークづくり
- ③研究に関するセミナー、研修会等の実施
- ④上記①～③に関連する本法人の提言又は要望の案のとりまとめと理事会および総会への報告

3. 担当理事および委員（○：委員長）

- 秋元 典子（甲南女子大学）
坂本 真理子（愛知医科大学）
島袋 香子（北里大学）
武田 祐子（慶應義塾大学）

4. 2021年度事業活動計画

1) 研究助成公募および審査

研究助成事業規程、研究助成事業規程施行細則、研究助成募集要項に則って公正かつ迅速に研究助成事業を運営する。

- ・看護学研究奨励賞 10件程度
- ・若手研究者研究助成 10件程度
- ・国際学会発表助成 5件程度

公募期間：2021年4月～5月31日（消印有効）

選考会議：2021年7月11日（Web開催）

2) 学術研究および学術研究体制に関する事業

研修会の開催

学術研究および学術研究体制に関する事業として、昨年に引き続いて2回開催する。

(1) 第1回研究セミナー

日時：2021年9月18日（土）

開催方法：Zoom ウェビナーによるライブ配信と3か月間の動画配信

プログラム：

- 13:00～13:10 開会挨拶・会長挨拶
- 13:10～14:40 講演「リサーチクエスションから研究計画へ」
講師 坂下 玲子 先生（兵庫県立大学 看護学部 教授）
- 14:40～14:55 質疑応答
- 14:55～15:00 閉会挨拶

研究成果報告配信：2021年9月18日～20日

(2) 第2回研究セミナー

日時：2022年2月12日（土）

開催方法：原則として対面式とするが、COVID-19感染状況によってはWeb配信とする。

開催場所：アルカディア市ヶ谷 5階 穂高

配信期間：研究成果発表：2022年2月12日～14日、講演：2022年2月12日～5月12日

プログラム：

1. 研究助成受給者による研究成果発表（5名）
2. 講演

（テーマ）「看護研究におけるアクションリサーチの意義と研究プロセス」

(講師) 筒井 真優美 先生 (横浜市立大学医学部看護学科/大学院 小児看護学/発達療養支援看護学
特別契約教授、日本赤十字看護大学 客員教授)

5. 今後の展望 (2021年度 ~ 2022年度)

- ①会員校における看護学研究者の育成のために適正で公正な研究助成事業を推進する。
- ②会員校の教職員が参加しやすい研究セミナー等の開催について検討し、研究セミナーを開催する。

2021年度 事業活動計画書

1. 委員会名

国際交流委員会

2. 趣旨

- ①看護における教育、学術及び文化の国際交流を通して、将来国際的に関連機関との連携協力及び援助に繋がるための方策の検討
- ②看護界の動向と看護学教育の国際交流の現状と将来についての講演会や研修会等の実施
- ③上記①、②に関連する本法人の提言又は要望の案のとりまとめと理事会及び総会への報告

3. 担当理事および委員（○：委員長）

田村 由美（日本赤十字広島看護大学）

○堀内 成子（聖路加国際大学）

（委員）

荒川 満枝（鳥取看護大学）

長松 康子（聖路加国際大学）

中村 敦子（日本赤十字広島看護大学）

4. 2021年度事業活動計画

研修会

1. テーマ：看護学教育にいかに関SDGsを取り入れるか
2. 目的：SDGsを掲げた教育展開の事例紹介を行う。大学生ができるSDGsへの取り組みについて会員校同士の情報交換を行い、新たな教育的取り組みを考える。
3. 内容：
 - 1) 看護学教育にSDGsを取り入れた授業展開例
 - 2) 学生や教員の反応と課題
 - 3) With コロナ環境での教育上の工夫
 - 4) 看護学教育における国際的視野の醸成についての展望
4. 開催日時：2021年11月5日（金）16時00分から17時30分
5. 開催方法：Zoom ウェビナーによるライブ開催及び後日動画配信
6. プログラム 講演20分＋質疑応答5分
開会挨拶
講演1「看護を通じてSDGsを考える授業」
講師 目白大学看護学部 准教授 高橋 幸子 氏
講演2「ゼミナールを通じてSDGsについて考える：1-2年合同必須科目」
講師 城西国際大学看護学部 学部長 宮澤 純子 氏
講演3「未来から描くケア共創看護学教育－自然・生命・こころ・技の循環－」
講師 日本赤十字豊田看護大学看護学部 学部長 村瀬 智子 氏
閉会挨拶

5. 今後の展望 (2021年度 ~ 2022年度)

グローバル化の加速する社会において活躍できる人材の育成にむけた看護学教育のあり方について、情報交換と交流を推進し、グローバル社会のニーズに対応する看護教育のあり方およびカリキュラムの体系化について議論を進める。

また、グローバル化に対応できる人材育成に取り組むには、まず大学の全教職員がグローバル化に取り組むことが課題であるとの発想の転換が求められている。大学の教職員の意識の変革を行う方策を見出すための議論を進めていく。

With コロナ時代を前提とした教育的取り組みの可能性について情報交換を行う。

2021 年度 事業活動計画書

1. 委員会名

大学運営・経営委員会

2. 趣旨

- ①私立看護系大学の振興に必要な国、地方公共団体又は民間からの補助金、寄付金、その他の支援が可能になるような実態調査・分析
- ②大学運営・経営の向上に繋がる事業を展開するための方策の調査研究
- ③上記に関連する本法人の提言又は要望の案のとりまとめと理事会及び総会への報告

3. 担当理事および委員（○：委員長）

鎌倉 やよい（日本赤十字豊田看護大学）

齋藤 ひろみ（仙台青葉学院短期大学）

長澤 正志（淑徳大学）

○春山 早苗（自治医科大学）

4. 2021 年度事業活動計画

1) 研修会

テーマ： 大学における質保証

日時：10月25日（月） 13時30分～

開催方法：Zoom ウェビナー

講師：大学基準協会から1名と事例紹介の大学から1名

2) 4年制大学の教育等に関する実態調査の実施と報告書の作成（JANPU との合同調査）

調査期間：2021年10月～12月（予定）

「実態調査の活用状況」や「コロナが大学経営にどのような影響があったか」などについて JANPU との合同会議等で検討し 2021 年度実態調査の設問項目と目的などについて見直しを図る。

3) 短期大学の教育等に関する実態調査の実施と報告書の作成

調査期間：2021年10月～12月（予定）

5. 今後の展望（2021 年度 ～ 2022 年度）

- 1) 4年制大学および短期大学の教育・危機管理等に関する実態調査結果から、4年制大学および短期大学の運営・経営改善に関する方策を提案する。
- 2) 大学運営・経営に関する研修会を企画し、危機管理の強化を含めた補助金等の獲得ができる情報を発信する。

2021年度 事業活動計画書

1. 委員会名

渉外活動委員会

2. 趣旨

- ① 本法人の発展のため外部の組織に働きかけ、看護教育並びに看護専門職としての充実・発展に必要な国の制度や法令、文教行政や予算、高大連携についての確かな情報収集と分析・整理
- ② 文部科学省、厚生労働省関係、日本学術会議をはじめ、日本看護系大学協議会、日本私立大学協会、日本私立学校振興・共済事業団、中央教育審議会、大学設置・学校法人審議会等諸機関の活動状況の把握をし、必要な提携・協力及び支援活動を企画・実施
- ③ 啓発活動のためのセミナーの実施
- ④ 上記①～③に関連する情報等を本法人の理事会及び総会へ報告

3. 担当理事および委員（○：委員長）

河口 てる子（日本赤十字北海道看護大学）
島袋 香子（北里大学）
長澤 正志（淑徳大学）
○山本 あい子（四天王寺大学）

4. 2021年度事業活動計画

- ① 日本学術会議、文部科学省、厚生労働省、中央教育審議会等から看護学ならびに看護学教育に関する情報収集を行い、課題の分析をすすめる。
- ② 大学設置・学校法人審議会における専門職大学認可の動向に関する情報収集
- ③ 日本私立大学協会、日本私立学校振興・共済事業団等関係諸機関の活動状況の把握
- ④ 日本看護系大学協議会との合同基礎調査における協議事項の検討を大学運営・経営委員会とともに進める
- ⑤ 日本看護系大学協議会と高度実践看護師のグランドデザイン委員会への参画を継続する。
- ⑥ 合同データベースの中の実習費分析と実習費に対する費用抑制への対策企画案の作成
- ⑦ 関係団体の新型コロナウイルスへの対応についての情報収集、各団体からの省庁への要望の情報収集
- ⑧ 文部科学省、厚生労働省等関係省庁の新型コロナウイルス対応についての通知・連絡、Q&A 等での回答の情報収集

5. 今後の展望（2021年度～2022年度）

関連諸機関の活動状況の把握をさらに進め、必要な提携・協力及び支援活動を企画・実施に移す。

2021 年度 事業活動計画書

1. 委員会名

広報委員会

2. 趣旨

- ① 本法人の目的の達成に寄与するため会報・その他刊行物の発行
- ② 会員校への情報伝達及び会員校間の情報交換
- ③ 本法人の活動の外部への PR のためホームページの企画運営
- ④ 上記に関連する本法人の提言又は要望の案のとりまとめと理事会及び総会への報告

3. 担当理事および委員（○：委員長）

濱中 喜代（岩手保健医療大学）

三国 久美（北海道医療大学）

○守田 美奈子（日本赤十字看護大学）

4. 2021 年度事業活動計画

1) 会報第 45 号・46 号の発刊

(1) 会報第 45 号は 2021 年 5 月上旬に発刊

- ① 2020 年度事業活動報告
- ② 会員校の特色のある取り組みの紹介
- ③ 理事会報告
- ④ 事務局からのお知らせ

(2) 会報第 46 号は 2021 年 11 月上旬に発刊予定

- ① 会長挨拶
- ② 新規会員校紹介
- ③ 会員校の特色のある取り組みの紹介
- ④ 2021 年度研究助成事業の選考結果報告
- ⑤ 役員一覧
- ⑥ 理事会・社員総会報告
- ⑦ 事務局からのお知らせ

(3) 編集

原稿の依頼や原稿の受取は原則メールで行う。

(4) 配布部数

会員校：1 校 50 部
関係団体：約 120 部

2) ホームページ

2021 年 4 月 1 日に更新し、運用状況、アクセス動向、コンテンツなどを定期的に検討し充実を図る。

3) 2020 年度年次報告書の発刊

2021 年 7 月初旬に発刊

5. 今後の展望（2021 年度～2022 年度）

会報、年報、その他刊行物を効果的に活用して、その内容の整理及び充実を図る。
本法人の活動について、より可視化を図る。